

震災、原発事故後の活動収録集 ～そのとき私たちが挑んだ保健活動、県民の声や姿の記録～

研究組織名：福島地域保健研究会

研究責任者(所属)：小野喜代子（福島県保健福祉部感染看護室）

共同研究者名：別添名簿のとおり

1 目的

東日本大震災、福島第一原子力発電所事故から3年が経過したが、避難生活を続ける方々は平成26年4月においても約13万人の状況にあり、県内の各自治体・関係機関では住民の不安を軽減し、より健康な暮らしを目指した保健活動に試行錯誤しながら取り組んでいる。

震災当初から自治体の保健師を中心として実施された避難者支援、特に低線量放射線への対応などは、今までに経験のない新たな体験であり、こうした対応や体験を記録しておくことは重要である。また、今後も続く保健（支援）活動を仲間・地域の方々と共に進めていけるようにするためには、これまでの活動を振り返り、その活動の内容や意味を確認すること等により、支援者間の支え合い、分かち合い、つながりあいをつくる必要があると考えた。

そこで、震災、原発事故後の保健活動を振り返り・今後を考える研修会を開催し、それを記録・集録としてまとめ、その実施をとおして、支援者の支え合い、分かち合い、つながり合いの関係強化を図ることを目的に本事業（研究）を実施した。

2 方法

1) 支援者のためのワークショップ（研修会）の開催

- (1) 対象者：福島地域保健研究会会員（保健師、医師、看護師等）
- (2) 内容：長期化する震災後の保健活動についての振り返りと分かち合いを通じた支援者の休息と充電の機会として、2日間の研修（ワークショップ）を実施

ワークショップ1：自己紹介と心の天気模様の表現・わかちあい

ワークショップ2：震災から今日までを振り返る

（困難・苦労・きつさを感じたこと）

◇編集会議でのディスカッションの経過と声

編集会議は、上記ワークショップ参加者及び共同研究者双方に呼びかけて開催し、毎回10名前後の会員が参加して、各事例から何を共有できたら、伝えられたらよいのか等を整理する作業を行った。その過程の中では、今後も起こり得る災害時に、県内の関係者が効果的な活動を行うためには、県内各地域の保健所を核にして地域の災害時の活動・連携体制を平時から整備強化していくことが必要であることや保健活動を行うための情報共有システム整備等の必要性などが、事例に共通するキーワードとして話し合われ、それぞれの立場で何かできるかを引き続き考え、発信していこう等の意見が出された。

また、編集会議の参加者からは、「事例をとおして、そこから各自が何を考え何が必要・大事だと感じるのか、これから何が必要かを話し合うことが大事な時間だと感じる」「活動集録は読むより作る過程が大事なのではないか」「所属や地域、立場などを超えて話し合う、学び合う場でできたつながりは、災害時等にも生きてくる大事なネットワークなのではないか」などの意見が出された。

4 考察

県内支援者が震災から3年間に体験してきたこと、そこで感じたこと・思ったこと考えたことを、形式にこだわることなく自分の言葉で自由に出し合う形式での研修会は、震災以降、長期にわたり試行錯誤しながら保健活動にあたってきた各参加者から大事な時間、機会、場であったとの感想・評価を得ることができた。

また、研修会で出された経験や対応の内容を活動集録としてまとめるために行った編集会議は、各事例を経験した支援者のみならず、各自がそれぞれの地域や立場で体験した内容を共に考え、今後に向けて何が必要かをひとつひとつ共有して考えることの大切さを実感する機会となった。編集会議の中では、今後起こり得る災害時に備え県内の関係者が今回の災害の学びを活かし効果的な活動を行うためには、県内各地域の保健所を核とした災害時の活動、応援・連携体制を平時から整備強化していくことが必要であることや活動をスムーズに行うための情報共有のあり方を考えていくこと等が必要であると確認され、それらについては、今後、必要な場や機会を発信していきたいと考えている。

更に、研修会・編集会議の実施から、災害発生時のみならず、普段から、県内支援者が行う活動事例等を持ち寄り、情報交換し、相談しあえる支援者間の学びの場、支え合

3. 震災、原発事故後の活動収録集

いの場がいかに重要であるかを再確認す必機会ともなった。今回の取り組みを今後の福島地域研究会の活動にもつなげていくことが必要と考える。

別紙

共同研究者名簿

氏名	所属
小野喜代子	福島県保健福祉部 健康増進課
阿部 洋子	二本松市役所
草野 文子	相双保健福祉事務所いわき出張所
渡部 育子	ふくしま心のケアセンター 県中・県南方部センター
我妻 沙織	福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座
黒田 裕子	福島県県北保健福祉事務所
橋本 万里	福島県県北保健福祉事務所
古山 綾子	福島県県中保健福祉事務所
佐藤 恭子	福島県会津保健福祉事務所
大石万里子	南相馬市役所
本多 厚子	二本松市役所
渡部えくみ	郡山市役所
遠藤 智子	福島県保健福祉部障がい福祉課
佐々 信子	福島県立総合衛生学院
花積めぐみ	福島県立総合衛生学院